

大鳥に乗って星空を飛ぶ子ども

大西 健太郎

目を伏せずにみてごらん

つかまるところもないけれど 転んだって大丈夫

慌ててつかんだ棒ほど あんがいろいものだから

いざって時はしゃがんでごらん

波音も呑み込む静かな夜

音なき風にこだまが響く

誰かがうっかり聴きもらした声の迷子

きつと誰かに話しかけている

アナタには聴こえる？

自分の心に話しかけられるのは 自分しかないよ

真つ暗闇に漂う無数の光

白い大きな鳥に乗った子どもたちが宙を飛んでいる

今もこれからもずっと

会いに行きたくなったら 三日月をあおぐ岩で

だあれもいなくなった何億光年むこうの星空に立っていられるかな

底なしの真つ暗闇が溢れる夜に